

編集方針

広島ガスグループは、当社グループの経営戦略および事業活動の全体像を、株主・投資家の皆さまをはじめ、すべてのステークホルダーの皆さまに理解を深めていただくことを目的に、2025年度より『広島ガスグループ統合報告書』を発行しています。

当社グループの持続的な企業価値の向上に向けた期待を感じていただくためには、財務情報に加えて、事業概要や経営戦略、人材、環境、社会ならびにガバナンスといった非財務情報を一貫したストーリーとして分かりやすくお示しすることが重要であると考えています。

巻頭には「イントロダクション」セクションを設け、当社グループの最も重要な情報を、どなたにも直感的にご理解いただけるような内容としました。また、本報告書は、『国際統合報告フレームワーク』などを参考に構成しています。当社グループの中長期的な価値創造について、ステークホルダーの皆さまにご理解いただく一助になれば幸いです。

統合報告書2026におけるポイント

1 「顔の見える経営」をステークホルダーの皆さまへ

トップメッセージや経理部担当役員からのメッセージに加え、新たに掲載した事業戦略や人的資本の考え方に関する各担当役員からのメッセージを通じて、当社グループの持続的成長に向けた施策などについて、具体的な取り組みを交えながら紹介することで、「顔の見える経営」をステークホルダーの皆さまへお伝えしています。また、「イントロダクション」セクションには従業員の声を顔写真とともに掲載し、当社グループの一体感と役職員一人ひとりの決意を示しました。

イントロダクション

P3

トップメッセージ

P8

財務戦略解説

P21

事業戦略に沿った活動報告

P26

人事部担当役員メッセージ

P37

2 各プロセスの関係性を明確化した価値創造ストーリー

「価値創造の軌跡」では、各年代の課題とその対策についても記載しました。また、「価値創造プロセス」では、2030年ビジョンと、その実行計画である中期経営計画、マテリアリティなどの関係性をより明確に示すため、それぞれのつながりを体系的に整理したプロセス図を用いて、企業価値創造の全体像の可視化を図りました。

価値創造の軌跡

P12

価値創造プロセス

P14

3 中長期にわたる持続的な価値創造を訴求

「イントロダクション」セクションでは、自社のめざす姿や実現したい未来像をより具体的に訴求するため、『広島ガスグループ2030年ビジョン』冊子との連携を図りました。冊子に掲載しているイラストの一部を挿絵として活用することで、2030年に向けた当社グループの将来像を分かりやすくお伝えしています。

イントロダクション

P3

4 マテリアリティ(重要課題)情報とESG情報をより分かりやすく掲載

「価値創造を支える基盤」パートでは、各セクションの冒頭に中扉ページを設けるとともに、ESG情報と関わりの深いマテリアリティを前半に配置し、後半ではES(環境・社会)とG(ガバナンス)のセクションを分けて掲載することで、情報構成を明確にしました。

価値創造を支える基盤

マテリアリティ(重要課題)

P30

環境・社会への取り組み

P50

ガバナンス

P59

5 ポジティブ・ネガティブ双方の重要な情報を開示

トップメッセージでは、自社の課題認識や現状分析に加え、「リスクと機会」についても、より具体的に言及しました。また、「事業戦略に沿った活動報告」ページにおいては、各担当役員からのメッセージに加えて、各事業の「リスクと機会」について記載するなど、ポジティブ・ネガティブ双方の重要な情報を開示しています。

トップメッセージ

P8

事業戦略に沿った活動報告

P26